



2018 ベリトランスサーバー証明書更新

接続検証手順

～VeriTrans4G-POP(Web リンク型)～

Ver. 1.0 (2018 年 2 月)

目次

1.	接続検証の手順.....	3
1.1.	マーチャント様環境の準備.....	3
1.2.	検証環境への接続設定.....	3
1.3.	検証用要求の実行.....	3
1.4.	検証結果の確認.....	4
1.5.	検証結果のご連絡.....	4
2.	通信エラー時の対応について.....	5
2.1.	ルート証明書の確認および追加方法.....	5
2.1.1.	Java をご利用の場合.....	5
2.1.2.	.NET をご利用の場合.....	5
2.1.3.	その他の言語をご利用の場合.....	6
3.	本番運用における注意点.....	6
4.	その他.....	7
4.1.	著作権、および問合せ先.....	7
4.2.	改定履歴.....	7

1. 接続検証の手順

4G-POP を利用している全てのシステムで、接続検証を行って頂きますようお願いいたします。

検証を行って頂く際は、本番サーバーと同等スペックのマーチャント様環境から疎通確認を行って頂いたうえで、最終確認として本番環境からの接続検証を行って頂くことを推奨いたします。

1.1. マーチャント様環境の準備

マーチャント様が検証を行う環境は、本番サーバーと同等の環境のご用意をお願いいたします。

また、最終確認のために本番サーバーでの検証も行って頂きますようお願いいたします。

- ✓ OS、ミドルウェア、プログラミング言語環境のバージョン等が同一のサーバーをご用意ください。特に、SSL 通信に関連する設定が本番と同じであることをご確認ください。
- ✓ マーチャント様の検証サーバー環境では発生しなかった問題が、本番サーバーで発生する可能性もありますので、本番サーバーでも接続検証を実施してください。

1.2. 検証環境への接続設定

「Payment Key」および「Account Management Key」を取得するための接続先 URL を、ベリトランスの検証環境 URL に変更してください。

インターフェース名	接続先 URL
Payment Key 取得	変更前(本番環境 URL) https://pay.veritrans.co.jp/pop/v1/payment-key 変更後(検証環境 URL) https:// sandbox .pay.veritrans.co.jp/pop/v1/payment-key
Account Management Key 取得 ※会員管理機能をご利用の場合	変更前(本番環境 URL) https://pay.veritrans.co.jp/pop/v1/paynow-acctmgmt-key 変更後(検証環境 URL) https:// sandbox .pay.veritrans.co.jp/pop/v1/paynow-acctmgmt-key

※ 必要に応じてアプリケーションサーバを再起動し、設定を反映して下さい。

1.3. 検証用要求の実行

ベリトランス検証環境に「Payment Key 取得要求」を送信してください。

また会員管理機能をご利用の場合は、「Account Management Key 取得要求」も送信してください。(同一サーバー上に実装している場合は、「Payment Key 取得要求」のみの送信でも問題ございません。)

- ✓ SSL 通信が成功することの確認が目的のため、「Payment Key 取得要求」および「Account Management Key 取得要求」以外の処理を実行する必要はありません。
- ✓ 本番モード(“dummy”: true)、ダミーモード(“dummy”: false)のどちらでも実行可能です。

- ◇ ベリトランス検証環境は、本番取引が実行できるように設定しています。そのため、Payment Key 取得要求後の処理まで実行すると、実際に決済が成立する場合があります。決済が成立した場合は、必ず取消を行って頂きますようお願いいたします。
- ✓ 検証に利用するマーチャント ID は、現在ご利用の本番用マーチャント ID をご利用頂きますようお願いいたします。
 - ◇ 本番用マーチャント ID のご利用が難しい場合は、全マーチャント様で共用のマーチャント ID をご利用頂くことも可能です。共用のマーチャント ID では、全ての取引がダミーモードとなりますのでご留意下さい。
 - ◇ 共用のマーチャント ID は、ベリトランスのサポートサイトより取得可能です。

<https://www.veritrans.co.jp/trial/login/>

1.4. 検証結果の確認

Payment Key 取得要求および Account Management Key 取得要求がベリトランス検証環境に向けて送信されており、SSL 通信が正常に行われたことをご確認ください。

- ✓ 接続先 URL をログに出力している場合は、ベリトランス検証環境の URL が出力されていることをご確認下さい。
- ✓ 要求に対し、ベリトランス検証環境の POP サーバーからの応答が正常に受信できることをご確認下さい。
 - ◇ エラーが発生した場合、レスポンスパラメータの「result_code」が取得できていれば、SSL 通信が確立できているためテストは成功です。
 - ◇ レスポンスパラメータの「result_code」が取得できない場合は、検証環境との接続に失敗しています。
 - ◇ 接続に失敗した場合は、アプリケーションのログをご確認ください。ベリトランスの新しい証明書を認識できないことが原因の場合は、ルート証明書の追加等の対応が必要です。詳しくは「2.通信エラー時の対応について」をご参照ください。
 - ◇ OS やミドルウェアのログも合わせてご確認ください。例えば、PHP の場合は WEB サーバ(apache のログ等)に何らかのエラーが出力されている場合がございます。

1.5. 検証結果のご連絡

検証の状況を弊社でも確認させていただきますので、検証が終わりましたら、以下の方法で結果をご連絡いただきますよう、お願いいたします。

- ✓ 検証結果送信用フォームの URL を別途メールにてお知らせいたしますので、その URL にアクセスし、画面に表示される指示の通りに情報を入力して最後に送信ボタンを押してください。
 - ◇ 以下、ご入力いただく項目の一部になります。
 - ・ 本番用マーチャント ID / 検証時マーチャント ID
 - ・ 検証実施担当者の氏名、メールアドレス
 - ・ 検証時サーバーの接続元グローバル IP アドレス
 - ・ 取引 ID
 - etc.

2. 通信エラー時の対応について

通信エラーが発生した場合、最初に以下の2点についてご確認ください。

- ✓ 検証環境に接続するためのシステム要件(TLS1.1/1.2 での通信)に対応しているか
- ✓ 下表に示すベリトランス検証環境との通信が、マーチャント様のネットワークで許可されているか

IP アドレス	ホスト名
210.239.44.146	sandbox.pay.veritrans.co.jp

これらの点に問題がない場合、ベリトランスサーバー証明書のルート証明書がシステムに存在しない可能性があります。ご利用のプログラミング言語毎の対応方法を以下にご説明します。

2.1. ルート証明書の確認および追加方法

ベリトランスサーバー証明書の検証に必要なルート証明書は、以下の URL よりダウンロードできます。

- ルート証明書(DigiCert High Assurance EV Root CA)のダウンロード URL
<https://www.digicert.com/CACerts/DigiCertHighAssuranceEVRootCA.crt>

ご利用のシステムの証明書ストアに、このルート証明書が含まれていることをご確認ください。

2.1.1. Java をご利用の場合

ご利用のキーストアファイル(cacerts)に、必要なルート証明書が含まれていない場合は、keytool コマンドでインポートしてください。

- keytool コマンドの利用方法例

```
keytool -import -alias digicerthighassuranceevrootca -keystore cacerts -file DigiCertHighAssuranceEVRootCA.crt
```

2.1.2. .NET をご利用の場合

Windows のルート証明書ストアに、必要なルート証明書が格納されていない場合は、WindowsUpdate を行っていただくか、手動でインポートして下さい。

ルート証明書のインポートの後、以下の URL にブラウザからアクセスし、「DigiCert」のページが表示されればインポートは成功です。

<https://global-root-ca.chain-demos.digicert.com/>

2.1.3. その他の言語をご利用の場合

SSL 通信に利用しているミドルウェア (OpenSSL、Curl、NSS etc) が参照している証明書ストアをご確認のうえ、必要なルート証明書を追加してください。

※以上の対応を行っても通信エラーが改善されない場合は、ベリトランステクニカル・サポートまでお問い合わせください。

3. 本番運用における注意点

接続検証完了後の本番運用におかれましては、以下の点にご注意ください。

- ✓ 「1.2 検証環境への接続設定」で実施した接続先 URL の設定変更は、必ず元に戻してください。
- ✓ 通信エラー発生時に実施した 1.2 以外のシステム変更につきましては、本番環境にも適用が必要です。
 - 本番サーバーで検証を行った場合は、接続先 URL 以外はそのままの設定で本番運用を行ってください。
 - 本番サーバーで検証を行わなかった場合は、接続先 URL 変更以外のシステム変更について、必ず本番サーバーにも適用してください。

4. その他

4.1. 著作権、および問合せ先

[著作権] 本ドキュメントの著作権はベリトランス株式会社が保有しています。

Copyright (c) 2018 VeriTrans Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先] ベリトランス株式会社 テクニカルサポート SSL-SHA2 関連窓口

電子メール: ssl-sha2@veritrans.jp

4.2. 改定履歴

2018/2/22 : Ver1.0 リリース